

2023

4.19 (水) 12:10
12:50

12:10-12:15

◆ 演者紹介

12:15-12:40

◆ プレゼン

12:40-12:50

◆ 質疑応答

オンライン
(Zoom)

登録はこちら▶▶

https://temdec-med-kyushu-u-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN_8WzVWhwyS2OGTIF0QEzPnQ

【技術支援】九州大学 Q-AOS & TEMDEC

3つのゼロの世界 (貧困0・失業0・CO₂排出0)
達成のための ICT/AI 研究

司会: Scott Valentine 教授 (Q-AOS 研究推進ディレクター)



Key Words

3つのゼロ

貧困ゼロ

失業ゼロ

CO₂ 排出ゼロ

SDGs

AI

ICT

アシル・アハメッド 准教授

九州大学 システム情報科学研究院 情報知能工学部門



私の研究は、社会的目標を達成するための技術を生み出すことを目的としています。

この目標に向かって、バングラデシュのグラミン内にグローバルコミュニケーションセンター (GCC) を設立し、九州大学で研究チームを率い、数多くの国内および国際プロジェクトを行っています。例: GramHealth (未開拓地域向けの300ドルのポータブルクリニック)、GramCar (農村コミュニティ向けのライドシェアモデル)、GramAgri(iFARM、ICTベースの農業およびマーケティングプラットフォーム)、GramClean など。

日本の組織にソーシャルビジネスを推進し、数々のソーシャルビジネスの創出を支援しました。

2017年より「ヘルスケアとSDGsとソーシャルビジネス」に関する国際会議を主催しています。東北大学で博士号を取得した後、1999年、Avaya Labs (旧 Bell Labs) および NTT コミュニケーションズ (日本) に勤務しました。研究テーマは開発のためのICT、リモートヘルスケア、ソーシャルビジネス、およびSDGsです。

SDGsは2030年までに達成するように設定されています。COVID-19は、早急な対応が必要な目標を優先するよう私たちに警告しています。

失業問題、富の集中問題、気候問題がより顕在化しました。若い世代は大きな雇用保障に直面するでしょう。インテリジェントロボットから自分たちの仕事を守るためには、より革新的である必要があります。AIの力は、一握りの人々によって設計され、制御されるべきではありません。このモジュールでは、3ZERO (AIの不当な使用による失業ゼロ、富の集中による貧困ゼロ、純CO₂排出量ゼロ)を達成するための行動志向の研究を促進します。アジア諸国の若い人々が、現代の最も差し迫った社会問題や環境問題を解決するために、起業家精神をもってアイデアを出し、創造し、リードしていくことを目指します。